

2019.10.16

参加者 夜野、佐藤、瀧口、木村、 (4施設)

開催場所 デイサービスりっくる 19:30~

内容

今後の食べるデイの役割や方向性について話し合う。

何のためにやっているのかという方向性が変わってきているのでは？という現状

テストを行い、アプリを使って入力し、ケアマネや家族に報告して、加算を取るという最近の活動だと、継続することが難しく、参加者も減ってきている。新規で来てもらうにも、ハードルが高い。

まだまだアプリも機能性が上がらないと、日常に使用していくには難しい。

ワーキンググループを盛り上げるために、改めて原点回帰のリスタートをはかりたい

原点に戻り、食事時間を最初から最後まで観察できるデイサービスの利点を生かそうと食事量や飲み込み、姿勢など、ちょっとした気づきを持ちより、お互いにアドバイスや工夫を交換し改善を試みたり、専門家へつなげるために、テストとアプリをツールとして使用する。という方向性へ。

また他のワーキンググループに積極的に参加することで、良いコラボレーションができるのでは。他職種連携することでビッグデータもとれる。

デイサービスでの食支援はどういう事ができるのか？という大前提のテーマのもと、改めて

困りごとを持ちよりグループディスカッションからリスタートしたい。

そのために、今一度テーマを絞って発信し、テストを行っていないデイにも今一度参加してもらうように声掛けしていく。

次回 12月3日 火曜日 19:30~ デイホーム笑み(忘年会もしましょ)

記録 ヨウコー早稲田 夜野